

## 1 製造業の現況

**基幹産業としての製造業** 福島県における製造業は、平成23年度県内総生産(名目、早期推計値)の産業別構成割合で20.7%を占める基幹産業のひとつである。リーマンショックや東日本大震災、原発事故などの影響により厳しい環境にあるが、製造品出荷額等が4兆2,852億円(23年)と東北第1位を維持するなど福島県経済の中核をなす産業である。

7年と23年の各種指標を比較すると、各指標の数値は低下傾向にあるが、各指標の順位は大幅な低下には至っていない。景気変動や工場の海外移転など様々な影響がみられる中、首都圏に近く交通網が整備されているなどの地理的条件を活かして、福島県は製造業の集積地としての地位を確保している(図表12-1)。

**減少する事業所数と従業者数** 製造業における事業所数(従業者4人以上)と従業者数は、景気の変動に加え企業のリストラ、海外への生産拠点の移転など様々な要因により減少していた。こうした状況下に23年の原発事故発生が重なり、事業所の休止や撤退、県内・県外への避難者が増加した。

その結果、事業所数は平成7年には7,228事業所あったものが、23年には4,000事業所を下回り3,983事業所となった。従業者数については、7年の22万2,840人から23年には15万人を下回り14万9,994人となった(図表12-2)。

**製造品出荷額等と付加価値額** 製造品出荷額等は、平成19年に6兆1,805億円と初めて6兆円を超えたが、翌年のリーマンショックと23年の東日本大震災の影響が大きく、震災発生後の23年には4兆2,852億円と元年以降では最少となった。

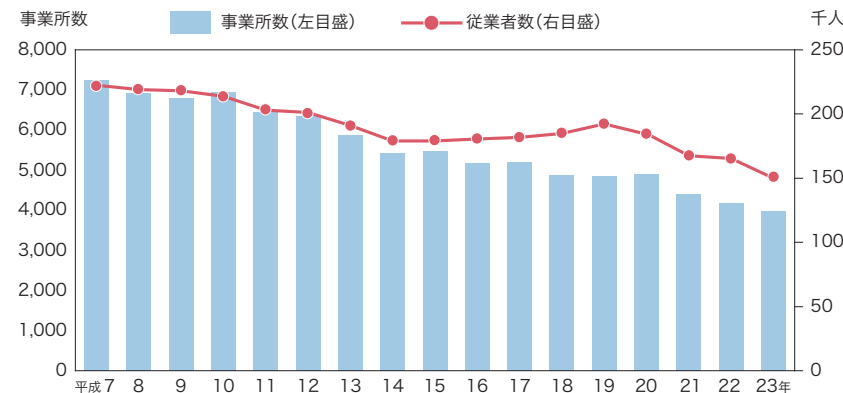
付加価値額については、9年にピークの2兆3,044億円となり、それ以降は2兆円前後で推移していた。しかし、リーマンショックと震災により大きく減少し、23年は1兆3,261億円と元年以降では最少となった(図表12-3)。

図表12-1 福島県の製造業の位置

項目	単位	平成7年				平成23年			
		福島県	全国	全国比(%)	全国順位	福島県	全国	全国比(%)	全国順位
事業所数	所	7,228	387,645	1.9	19	3,983	232,161	1.7	20
従業者数	千人	223	10,316	2.2	18	150	7,452	2.0	19
製造品出荷額等	億円	51,869	3,058,278	1.7	20	42,852	2,850,232	1.5	24
付加価値額	億円	20,137	1,170,543	1.7	22	13,261	91,387	1.5	23

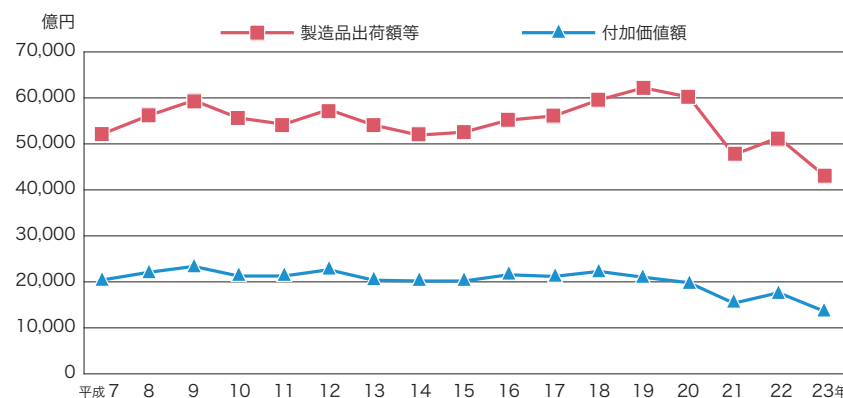
資料：福島県「平成24年経済センサス-活動調査(製造業)速報」

図表12-2 県内製造業の事業所数・従業者数推移



資料：福島県「工業統計調査結果報告書」、「平成24年経済センサス-活動調査(製造業)速報」

図表12-3 県内製造品出荷額等・付加価値額の推移



資料：図表12-2に同じ